事　業　報　告　書

平成２６年度
（平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日まで）

滋賀県高島市朽木麻生４４３番地
特定非営利活動法人　麻生里山センター
代表理事　山本　光雄

総　括

森林公園くつきの森に多くの人が訪れ、豊かな自然を楽しんでいただけるよう、多様なイベントの開催など集客事業の充実を図るとともに広報の充実（イベント情報チラシの作成・配布、ホームページ等の充実）や美しい里山の整備に努めた。

長年の要望であった薪ストーブをやまね館に設置することができ、燃料である薪を確保する必要が生じたことから、薪づくりに非常に多くの時間を費やする一年となり、少なからず森の整備にも貢献することができた。また、訪れるお客様はやまね館に入ると一様に薪ストーブが設置されていることに歓声が上がるとともに前に座り炎に魅入られだんらんの場を提供するなど、想定以上に設置効果は大きいものがある。

一方で、25 年度の台風 18 号による被害を受けた北谷橋等の基幹的施設の早期復旧については次年度へずれ込むなど課題を残すことにもなった。

くつきの森利用者数

4 月～7 月は対前年 337 人増、10 月はやまのこ森林体験学校の増等により対前年 296 人増で推移していたが、台風等の影響を受けた 8、9 月は団体客のキャンセル等により 432 人減、11 月～2 月は少しづつ前年を下回る結果となり、最終的には対前年 1.4%増の 4,626 人にとどまった。

各種助成金の活用

各事業の充実を図るため、各種助成制度の獲得に取り組んだ。

「未来の森づくり」、「森の観察会」ならびに「薪ストーブ設置」は森林山村多面的機能発揮対策交付金を、「森の子キャンプ」は子どもゆめ基金の助成をそれぞれ充当することができた。

事業の実施状況

くつきの森の四季の自然の移り変わりやその素晴らしさを体験する機会を提供するため、８事業２５回のイベントを計画した。天候の影響等により参加申込み少数の事業がキャンセルとなり、最終的には７事業１８回のイベントを実施、計２８７名の参加があった。主な事業は下表のとおり。

開催月日	事業名	事業実績概要	参加者数
5 月 10 日 7 月 19 日 8 月 16 日 10 月 18 日 2 月 21 日	森の観察会（５回開催） 森林山村多面的機能発揮対策交付金（森林空間利用タイプ）の助成を受け	くつきの森とその周辺をフィールドとして各回テーマを定め、各分野の専門家を講師に迎え自然観察会を開催。 ５月　山　菜（海老澤秀夫氏）	105 名

	実施 ※森林文化協会の後援を得て実施	7月　水生昆虫（上西実氏） 8月　昆　虫（西田隆義氏） 10月　きのこ（片山治之氏） 2月　かづら（海老澤秀夫氏）	
8月2~3日	**森の子キャンプ** 子どもゆめ基金の助成を受け実施 ※NPO 法人アサヒキャンプの協力、森林文化協会の後援を得て実施	森の資源を生かし自然と共に生きてきたかつてのこの地域の暮らしを体験する1泊2日のキャンプを通して子ども達の交流を図るとともに森が人の暮らしに身近な存在であることを伝える機会とした	24名
4月26日 6月28日 10月25日 11月22日	**未来の森づくり** **（里山整備活動）** 森林山村多面的機能発揮対策交付金の助成を受け実施 ※森林文化協会の後援を得て実施	里山の資源を利用することで昔のような里山を蘇らせることをめざす「未来の森づくり」里山整備活動を、ボランティアの参加を得て実施した。	66名
4月5日 12月20日 6月14日 9月20日 1月17日	**森のお茶会** **森のランチ**	石窯の利用促進を図るイベントとしてお茶会とランチを開催 おやつ（マフィン、クッキー、焼きリンゴ作り体験） ランチ（鯖カレー＋ナン、きのこのピザ、鯖のホイル焼き＋かまどごはん）	25名 50名
5月24日 10月11日	**森のいやし**	自然に囲まれた森の中で、なごみのヨーガと森のいやしごはん、散策を通して心身共にリラックスする機会を提供した。	28名
通年	**協定企業との活動** **（太陽生命保険㈱）**	当センターと協定を締結している「太陽生命くつきの森林」をフィールドに「多様性豊かな森林を再生し、森林の恵みを得る」という活動計画に沿い、次の事業を実施（協力）した。 6/6　寄り合いプロジェクト 26年度の作業内容決定のため現地調査を実施	6名

		6/7　ビオトープ整備 地子原地先の水田跡地をビオトープとして再生するための整備活動を実施	17名
		7/26　太陽生命森林づくり活動 見晴台・展望台整備、林道整備、アカマツ林落ち葉掻、ビオトープ整備、下草刈り等を実施	180名
		10/16,17　どんぐりプロジェクト 朽木東小学校と連携し、広葉樹の森を再生するため、3年生の時にドングリを拾い・植え、4・5年生で育て、6年生で植樹して卒業していく活動。	9名 （来園分）
		12/5　どんぐりプロジェクト植樹式 朽木東小学校6年生が、どんぐりプロジェクトで育てたコナラの苗を一人一本植樹した。	21名
		11/29、12/4、植樹式準備 どんぐりプロジェクト植樹地の事前整備、シカ柵の設置準備を実施	2名 (ｾﾝﾀｰ)
		3/20、3/27 松枯れ木等伐採処理作業 雪等により倒れ・枝折れ・枯れて危険な木等を伐採・処理を実施	3名 (ｾﾝﾀｰ)
	合計		238名

利用者の状況

当年度の利用者数は下表のとおり。

高島市内の方々の利用の拡大を図ることで年間利用者数5,000人を目標に管理運営を進めた。結果は、対前年度62人増の4,626人だった。

期別に見ると、4月～7月集計では337人増（「対前年度」以下同様）で推移していたが、台風等の影響を受けた8、9月は団体客のキャンセルが発生し上半期集計では95人減となった。10月はやまのこ森林体験学校の増や前年度は台風18号襲来の直後であったこともあり296人増、4月～10月の累計では201人増となるが、その後は少しづつ前年度を下回り、最終的には62人増にとどまった。

25年度台風18号により流出した北谷橋や東山コースの木橋について、高島市が復旧する計画であったが諸般の事情により27年度にずれ込んだことも少なからず利用者数に影響を与えたものと考えられる。

月別利用者数推移表

単位：人

	年度									対前年増減	対前年増減率%
	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
4月	120	129	228	182	217	44	170	183	119	-64	-35.0
5月	307	479	490	1,243	866	964	760	580	763	183	31.6
6月	102	167	256	315	286	245	355	380	544	164	43.2
7月	83	213	766	558	954	805	641	566	620	54	9.5
8月	258	394	639	933	671	528	432	895	577	-318	-35.5
9月	268	420	472	1,235	326	445	573	479	365	-114	-23.8
10月	124	387	679	493	328	412	841	284	580	296	104.2
11月	175	606	322	403	293	355	562	396	365	-31	-7.8
12月	149	116	202	206	179	36	188	171	159	-12	-7.0
1月	75	89	206	232	151	45	129	138	64	-74	-53.6
2月	45	264	259	199	331	236	259	442	401	-41	-9.3
3月	13	87	305	192	119	6	82	50	69	19	38.0
合計	1,719	3,351	4,824	6,191	4,721	4,121	4,992	4,564	4,626	62	1.4

大口利用者（30人以上）の概要

団　　体　　名	受入日数（日）	のべ利用人数（人）
NPO法人アサヒキャンプ	21	588
やまのこ森林体験学校	12	376
太陽生命保険㈱	9	247
金襴中学校	2	202
自衛隊	4	157
ECC学園	5	144
ボーイスカウト	4	130
親子で作る学習机	5	99
立命館大ワークキャンプ	7	94
朽木東小学校	4	88
元気クラブいかるが	2	86
滋賀県立大学	6	84
島本剣生会	3	74
山口立彦様	2	66
空手道スポーツ少年団	2	58
映画ロケ（雲霧仁左右衛門）	1	50
新旭南小学校遠足	1	50
JEC連合	2	45
高島市ＰＴＡ連絡協議会	1	45
ふじなみ幼稚園	2	43
吹田むくもくの里	1	40
JTB鏑木さんツアー	2	38
京都大学農学部	1	38
洛西保育園	1	34
音景色	2	33
ニューサンピア敦賀	1	32
大川観光	1	30
地域クリエーター研修	2	30

「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」の活用による里山整備

平成 25 年度森林の有する多面的な機能を発揮させるための保全活動等を支援する「森林・山村多面的機能発揮対策交付金（林野庁）」制度が創設された。

当センターでは、くつきの森の管理を進めていくうえで非常に有用な制度であることから、25 年度から 27 年度まで 3 年間の計画で採択申請をおこない 26 年度は下記のとおり採択を受け整備を実施した。

◆森林資源利用タイプ	2ha	交付金額	320 千円
◆森林空間利用タイプ	5 回	〃	250 千円
◆資機材の整備	1 式	〃	484 千円
計			1,054 千円

森林資源利用タイプでは、「里山の資源を利用することでかつてのような里山の再生をめざす未来の森づくり」として 4 回の活動日を設定し、のべ 66 名のボランティアの参加を得て自然研修センター周辺とやまね館横の湿地園の枯損木伐採、玉切り、薪作り、枝の整理等を実施した。

森林空間利用タイプを活用し、森の観察会 5 回を開催、事前に遊歩道周辺の整備を行い安全確保に努めた。

資機材の整備では、薪ストーブ（最大暖房面積 223m2）を購入し、やまね館ロビーに設置した。

薪ストーブの導入により、大量の薪を確保する必要があることから上記の整備作業で薪を確保することをはじめとして、今まで十分に活用されなかった枯損木等についても薪として収集することとなり林内整備に役立つと共に、森林研修施設として資源の有効活用事例を展示することができた。

助成事業の期間は 25 年度から 27 年度までの 3 年。27 年度も引き続き、林が元気になってゆたかな機能を発揮できるよう、林の改良作業を試みる。

施設・森林の維持管理状況

施設については、水道施設や浄化槽等のくつきの森の運用上欠かすことのできない基幹的な施設の老朽化が著しく故障が発生、その都度高島市とも連絡をとりながら修繕にあたるなど、故障に対応した。

大規模な修繕については高島市の負担で対応していただいた。主なものは、水道施設では自然研修センターの水圧を確保するための加圧ポンプの設置、周辺の漏水防止を図るための新規配管の整備、芝刈り機のギアボックス破損に伴う修理、浴室給水栓取替（7個）、消化器取替（16本）があった。

除雪機のＶベルト交換、トラクターエンジン調整、運搬車のクラッチベルト修理など小規模な修繕についてはセンター負担で対応した。

なお、水道施設や浄化槽などは建設後３０年余が経過し機械・電気施設等は耐用年数を越えており、抜本的な改修等の対応が必要であることから、高島市に要望していたが、(1)水道施設改修、(2)浄化槽改修については26年度実施設計が行われ27年度に改修工事が行われる予定である。

乗用芝刈り機は購入後２０年余を経過し、エンジンがなかなかかからない状態になっている。これはエンジンの焼き付きのためで抜本的な対策は無いとの報告を受けており、引き続き更新が課題となる。

森林の整備については、上記の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用した里山整備を実施したほか、遊歩道を中心に倒木処理や草刈りを実施した。また、薪ストーブや石窯の薪を確保するため倒木や間伐材の活用を図った。

太陽生命の森林では、太陽生命保険㈱の森林づくり活動として見晴台・展望台整備、林道整備、アカマツ林落ち葉掻、ビオトープ整備、下草刈り等を実施され、当センターは各グループの活動を指導・支援した。なお、この地域においては数年前に松枯れ木伐採処理が行われているがその後も松枯れが進行し倒木の危険があるため、専門家に委託し伐採処理を実施した。

今後の課題

25年の台風18号による被害個所の早期復旧が大きな課題である。特にセラピーロードは、くつきの森の活用において欠かせない重要な歩道でもあり、市で復旧される北谷橋と東山コースの長い木橋や遊歩道の整備について早急に進める必要がある。

老朽化した施設（水道施設、浄化槽）については、朽木地域過疎計画に位置づけ、２６年度に実施計画策定、２７年度以降の工事実施が予定されている。

ついては、水道施設と浄化槽の改修工事を確実に実施し、当センターの長年の要望事項であるやまね館の通年宿泊施設としての防火基準適応工事等についても計画に

組み入れてもらえるよう、引き続き要望しつつ、市の実施行程に協力しながら、改修施設全体の早期完了をめざす。

市の条例と当センターの定款にうたわれている、「豊かな自然環境にある森林を活かした環境教育や都市との交流を通じて、森林環境の保全と地域の活性化を図る」という目的を達成するためには、多くの方々に来園してもらえるよう、くつきの森の特性を踏まえた魅力ある催事の立案、助成金等の資金の確保、ボランティアとの連携によるスタッフの確保、インターネットを有効に活用したホームページ、ブログ等の充実等が重要であり、鋭意取り組む所存である。

さらに、地域各団体、協定企業等との連携の輪を拡大していくことや、会員の皆さんのNPO活動への積極的な参加のあり方についても課題として取り組んでいきたいと考えている。

会　計　報　告　書

平成２６年度
（平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日まで）

滋賀県高島市朽木麻生４４３番地
特定非営利活動法人　麻生里山センター
代表理事　山本　光雄

別紙２

平成25年度 活動計算書

（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

特定非営利活動法人 麻生里山センター　　（単位:円）

科　目	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合　計
Ⅰ経常収益			
1. 会費	92,000	0	92,000
正会員会費	90,000		90,000
賛助会員会費	1,000		1,000
入会金	1,000		1,000
2. 寄付金	259,000	0	259,000
寄付金	259,000		259,000
募金収入	0		
3. 助成金等	22,798,400	0	22,798,400
助成金	1,201,000		1,201,000
受取補助金	0		0
指定管理料又は委託料	21,597,400		21,597,400
4. 事業収益	8,004,372	0	8,004,372
自然環境維持管理費	609,900		609,900
施設利用料	1,992,650		1,992,650
参加料	323,000		323,000
ガイド料	24,000		24,000
販売収益	60,500		60,500
事業収益	4,994,322		4,994,322
5. その他の収益	5,667	0	5,667
受取利息	1,253		1,253
受取手数料	1,134		1,134
雑収益	3,280		3,280
経常収益計	31,159,439	0	31,159,439
Ⅱ経常費用	0		
1. 事業費	7,359,816	0	7,359,816
(1)人件費	525,000	0	525,000
給料手当	525,000		525,000
法定福利費	0		0
福利厚生費	0		0
(2)その他経費	6,834,816	0	6,834,816
事業費	5,444,801		5,444,801
印刷製本費	0		0
旅費交通費	4,500		4,500
広告宣伝費	0		0
通信費	31,794		
事業消耗品費	712,799		712,799
リース料	236,518		
修繕費	0		0
水道光熱費	0		0
減価償却費	0		0
保険料	293,519		293,519
諸会費	0		0
租税公課	0		0
研修費	0		0
支払手数料	0		0
雑費	110,885		110,885
2. 管理費	21,847,392	0	21,847,392
(1)人件費	12,598,515	0	12,598,515
給料手当	10,876,725		10,876,725
法定福利費	1,721,596		1,721,596
福利厚生費	194		194
(2)その他経費	9,248,877	0	9,248,877
業務委託費	2,180,895		2,180,895
印刷製本費	22,870		22,870
新聞図書費	15,320		15,320
旅費交通費	323,645		323,645
車両燃料費	88,760		88,760
通信費	408,629		408,629
事務消耗品費	595,693		595,693
修繕費	34,296		34,296
水道光熱費	2,364,137		2,364,137
リース料	565,740		565,740
減価償却費	161,388		161,388
保険料	306,615		306,615
諸会費	39,000		39,000
租税公課	918,500		918,500
研修費	124,171		124,171
支払手数料	394,296		394,296
事務委託費	684,000		
慶弔費	20,922		20,922
経常費用計	29,207,208	0	29,207,208
当期経常増減額	1,952,231	0	1,952,231
Ⅲ経常外収益			
固定資産売却益	0		0
過年度損益修正益	0		0
経常外収益計	0	0	0
Ⅳ経常外費用			
固定資産除・売却損	0		0
過年度損益修正損	0		0
経常外費用計	0	0	0
経理区分振替額	0	0	0
当期正味財産増減額	1,952,231	0	1,952,231
前期繰越正味財産額			2,244,020
次期繰越正味財産額			4,196,251

平成26年度 その他の事業 活動計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

特定非営利活動法人 麻生里山センター　　(単位:円)

科　目	金　額
Ⅰ経常収益	
1. 会費	0
正会員会費	
賛助会員会費	
入会金	
2. 寄付金	0
寄付金	
3. 助成金等	0
助成金	
受取補助金	
指定管理料又は委託料	
4. 事業収益	0
自然環境維持管理費	
施設利用料	
参加料	
ガイド料	
販売収益	
事業収益	
5. その他の収益	0
受取利息	
受取手数料	
雑収益	
経常収益計	0
Ⅱ経常費用	
1. 事業費	0
事業費	
広告宣伝費	
消耗品費	
修繕費	
保険料	
雑費	
2. 管理費	0
(1)人件費	0
給料手当	
法定福利費	
福利厚生費	
(2)その他経費	0
業務委託費	
諸謝金	
印刷製本費	
新聞図書費	
旅費交通費	
車両費	
通信運搬費	
消耗品費	
修繕費	
水道光熱費	
賃借料	
減価償却費	
保険料	
諸会費	
租税公課	
研修費	
支払手数料	
経常費用計	0
当期経常増減額	0
Ⅲ経常外収益	
固定資産売却益	
過年度損益修正益	
経常外収益計	0
Ⅳ経常外費用	
固定資産除・売却損	
過年度損益修正損	
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	0
法人税、住民税及び事業税	0
当期正味財産増減額	0
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	0

別紙３－１

平成26年度　特定非営利活動に係る貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	119,680		
麻生里山センター	(73,342)		
高島森林体験学校	(11,405)		
普通預金（JA西びわこ）	3,718,413		
麻生里山センター（７９２１）	(781,841)		
森林･山村多面的機能発揮対策交付金口座	(0)		
高島森林体験学校（９０３５）	(2,012,042)		
ゆうちょ銀行　振替口座	77,486		
現金・預金計	3,915,579		
（売上債権）　未　収　金	0		
（その他流動資産）　前払い費用	85,401		
その他流動資産計	85,401		
流動資産合計		4,000,980	
2　固定資産			
(1) 有形固定資産			
備品　　薪ストーブ	807,612		
備品　　電動ろくろ	1		
有形固定資産計	807,613		
固定資産合計		807613	
資産合計			4,808,593
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受金　協定契約によるもの太陽生命保険	400,000		
前受金　２７年度会費	2,000		
預り金　社会保険料および源泉所得税	210,342		
流動負債合計	612,342		
負債合計		612,342	
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,244,020	
当期正味財産増減額		1,952,231	
正味財産合計			4,196,251
負債及び正味財産合計			4,808,593

別紙３－２

平成26年度　その他の事業　貸借対照表

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
流動資産合計		0	
2　固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
流動負債合計		0	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

別紙４－１

平成26年度　特定非営利活動に係る財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

勘定科目・摘要	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金　　手許現金有高	119,680		
麻生里山センター	(93,789)		
高島森林体験学校	(25,891)		
普通預金　JA西びわこ　朽木支店	3,718,413		
麻生里山センター(7921)	(1,445,632)		
森林・山村多面的機能発揮対策交付金口座	(0)		
高島森林体験学校(9035)	(2,272,781)		
普通預金　ゆうちょ銀行　振替口座	77,486		
現金・預金計	3,915,579		
（売上債権）未収金　市助成金	0		
（その他流動資産）26年度分保険料	85,401		
その他流動資産計	85,401		
流動資産合計		4,000,980	
2　固定資産			
備品　電動ロクロ	1		
備品　薪ストーブ	807,612		
固定資産合計		807,613	
資産合計			4,808,593
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受金　協定契約によるもの	400,000		
26年度会費	2,000		
預り金　社会保険料と源泉所得税	210,342		
流動負債合計		612,342	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			612,342
正味財産			4,196,251

別紙４－２

平成26年度　その他の事業　財産目録

平成27年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
流動資産合計		0	
2　固定資産			
(1)　有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)　無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)　投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
流動負債合計		0	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0